



こども食品ロスウォッチャー事業にご協力いただいた皆さんへ
 実施結果のお知らせ



1 趣旨

松本市内2校の小学生3～4年生のみなさんに「こども食品ロスウォッチャー」に取り組んでもらうことで、家庭から出る「食品ロス」をどれくらい減らすことができるチャレンジしてもらいました。
 ※食品ロスは、「本当は食べられるのにすてられてしまう食品」のことです。

2 概要

1週間の間に自分の家から出た食品ロスについて、「こども食品ロスウォッチャー」に書きこみ、先生に提出していただきました。

	A校：市街地 (町の中にある小学校)	B校：中山間地域 (畑や山に近い地域の小学校)
調査期間	令和2年1月31日(金) ～令和2年2月6日(木)	令和2年1月27日(月) ～令和2年2月2日(日)
「食品ロスウォッチャー」を配った学年・人数	3年生(58名)	3年生(21名)、4年生(19名)
「食品ロスウォッチャー」を提出した学年・人数	3年生(37名)	3年生・4年生(合計30名)
調査の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・期間中に食べた食品ロスについて(すてた物、量、すてた理由) ・ふだん、家から出ている食品ロスについて ・これからどんな行動をしたいか など 	

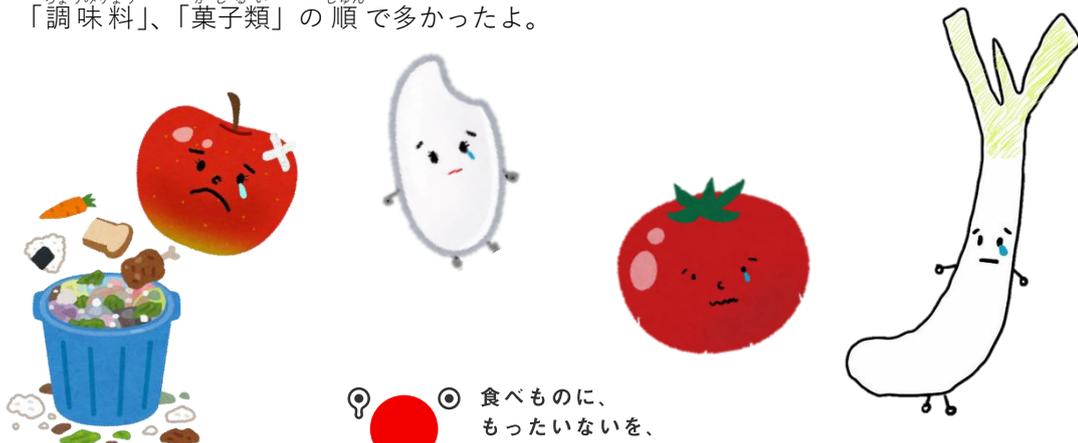
3 調査の結果

(1) 1週間で発生した食品ロスの件数(67家族中)

1週間で、67家族から109回の食品ロスが出たことがわかりました。

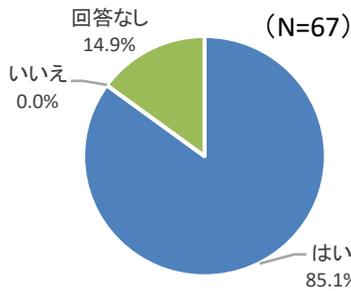
食品ロスの種類	食品ロスの発生回数
食べ残し	71回
手つかず食品	38回
合計	109回

- 「食べ残し」(少し食べてすてってしまった食べ物)は、「サラダ・野菜・海藻・豆腐」、「汁物」、「ごはん」、「めん類」の順で多かったよ。
- 「手つかず食品」(少しも食べずにすてってしまった食べ物)は、「生鮮野菜」、「生鮮果物」、「調味料」、「菓子類」の順で多かったよ。



(2) これから取り組みたいこと

これから、おうちで食品ロスが出ないように気を付けたいと思いますか。

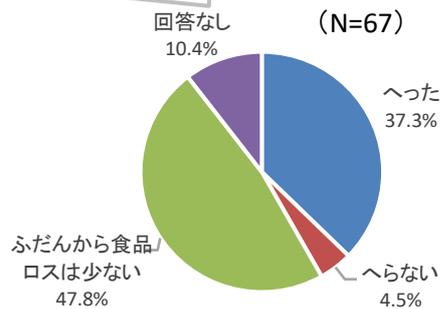


食品ロスについて記録すれば、食品ロスが減ることが分かります！

※保護者の方へ：(2)は児童向け、(3)は保護者向けの設問です。

(3) 1週間での食品ロスの量の変化

いつもより食品ロスは減りましたか。



4 おわりに

食品ロスの種類	今回の食品ロス発生回数の平均
食べ残し	1家族あたり 1.1回
手つかず食品	1家族あたり 0.6回
合計	1家族あたり 1.6回

※保護者の方へ：内訳の計と合計が一致しないように見えるのは、数値を小数点第2位で四捨五入しているためです。



1週間に1回以上食品をすてていることになるよ！

みんなの家庭から出た食品ロス発生回数を計算すると、1家族あたり1週間に**1.6回**、1年間で**80回以上**もの食品ロスが出ていることとなります。**もったいないよね！**

これからも、おうちで出された食べ物は残さず食べる、買い物の前に冷蔵庫の中身をチェックする、買ってすぐ食べる時はお店の棚の手前にある期限の近い商品や値引き品を積極的に選ぶなど、食べ物をすてない生活を心がけよう！



～感想の中から一部を紹介します～

○子どもたちのわかったこと

- 思ったよりも自分は食べ残しが多いことに気づいた。これから食べ残しをなくしたいです。
- 今回の1週間と他の1週間を比べてみたいと思った。
- 弟は、いぶくろが小さいから食べるのこしが多くなってしまう。だから少しずつとり分けて、食べたほうが食品ロスが少なくなると思った。

○保護者のわかったこと

- 食べ残しでの食品ロスが多く感じていたので、この機会に子どもたちでご飯作りをしてもらい、作ったのに残されたら悲しい事を伝えました。今後は意識してロスを減らせたらと思います。
- 家族みんなで、気にかけるようになり、食べ残しや無駄な買物が減ったように感じます。
- 普段より意識し、作りましたが、残ったおかずは次の日のお弁当のおかずにしたり、リメイクしたりと考えました。子供も残さないよう心掛けていたので、普段から取り組めばロスがかなり減ると思いました。



◎ 食べものに、もったいないを、もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT